

児童・生徒のメディア文化との関わり  
—— その国語教育的アプローチ ——

小林 一仁\*・増田 年男\*\*

（1993年10月18日 受理）

The Relationship Between Pupils and the Media Culture:  
The Educational Approach through “Kokugo”

Kazuhito KOBAYASI and Toshio MASUDA

(Received October 18, 1993)

はじめに

大人のあまり知らない「少年ガンガン」「ちゃお」「幽遊白書」「ママレードボーイ」, 「ねるとん紅鯨団」, 「コバルト文庫」, 「折原みと」(作者名), 「RPG」(ドラゴンクエストなど)など現代のメディア文化に児童・生徒(以下, 子供という。)は取り囲まれ, 数多くの時間を費やし, 接触している。子供は一般的傾向としてマンガを好み, テレビに興じ, そして教師や親が薦める小説や単行本にはあまり興味を示さず, 女子にあっては「折原みと」などの少女小説を愛読している。したがって, 現代社会の中で子供が興じる娯楽の一つ一つは, 文化として社会的な地位を確立していることを, 子供の背後に見ておかなければならない。

そこで, 子供とメディア文化との関わりを実態の中でとらえ, その中で彼らの言葉の力に対するメディア文化の影響を, 国語教育の立場から考察・検討しようとする。更に, メディア文化の持つ力を利用して, 学校教育の場で子供に言葉の力を身につけさせるためには, どの領域等でどのような改善を加えたら良いかを検討する。

研究の出発点として, マンガ本に関する考察の一部を「茨城大学教育実践研究」第12号に執筆し, 本稿では, その続編として子供のテレビ視聴に関する考察を進めた。

次に掲げる〈資料〉は, 子供のメディア文化との接触状況の実態をつかむために, 平成5年1月～2月に実施したアンケート調査用紙の一部(本稿に関わるもの)である。アンケートは, 県内の小学校6校, 中学校6校, 高等学校5校のご協力をいただき, 小学5, 6年生計199名, 中学1, 2, 3年生計511名, 高校1, 2年生417名について調査することができた。

\*茨城大学教育学部国語教育講座(〒310 茨城県水戸市文京2丁目1-1)。

\*\*大洗町立南中学校(〒311-13 茨城県東茨城郡大洗町大貫町1212-14)。

&lt;資料&gt;

## 好きな本やファミコンなどについてのアンケート

学年	小・中・高	年	性別	男・女
----	-------	---	----	-----

これは、試験ではありません。ですから、もちろん成績などにはいっさい関係させません。  
みなさんの日常生活で、どのような本やテレビやファミコンなどが好まれているのか、教えてもらいたいです。  
質問は、記号に○をつけて答えるものと、に記入して答えるものと2種類あります。  
よろしくお願いします。

- 問12. テレビを見ますか。1つ○をつけてください。  
ア、よく見る イ、たまに見る ウ、ほとんど見ない
- 問13. 「ア、よく見る イ、たまに見る」に○をつけた人に質問します。  
何という番組を見ますか。番組名を最高5つまで書いてください。  
(今は放映されていないものでもかまいません。  
(1つや2つでもかまいません。)  
(なお、チャンネル又はテレビ放送局名、曜日、時間帯についても、書ける場合は記入してください。  
時間帯は、下から選びあてはまる記号を書いてください。)

番組名					
チャンネル又は テレビ放送局名					
曜日					
時間帯					
	ア、起きてからお昼までの間    イ、お昼から夕食までの間 ウ、夕食中                            エ、夕食から寝るまでの間                            オ、深夜				

- 問14. 「ア、よく見る イ、たまに見る」に○をつけた人に質問します。  
(1) 学校に行く日（ただし、土曜日をのぞく）、(2) 土曜日（第2土曜日以外）、(3) 日曜日・休日、  
おもにテレビを見る時間帯はいつですか。それぞれについて、答えてください。それぞれ2つ以上  
○をつけてもかまいません。
- (1) 学校に行く日（ただし、土曜日をのぞく）  
ア、起きてから登校までの間  
イ、帰宅後から夕食までの間  
ウ、夕食中  
エ、夕食後から寝るまでの間  
オ、深夜
- (2) 土曜日（第2土曜日以外）  
ア、起きてから登校までの間  
イ、帰宅後から夕食までの間  
ウ、夕食中  
エ、夕食後から寝るまでの間  
オ、深夜
- (3) 日曜日・休日  
ア、起きてからお昼までの間  
イ、お昼から夕食までの間  
ウ、夕食中  
エ、夕食後から寝るまでの間  
オ、深夜

テレビ視聴の実態と考察

1. 子供のテレビ視聴の状況

第1表 「テレビを見ますか」

ア, よく見る			イ, たまに見る			ウ, ほとんど見ない											
小学5年男子			小学5年女子			小学6年男子			小学6年女子								
問 12			問 12			問 12			問 12								
	人数	比率		人数	比率		人数	比率		人数	比率						
ア	45	90.0	ア	42	87.5	ア	45	93.8	ア	44	83.0						
イ	3	6.0	イ	6	12.5	イ	1	2.1	イ	7	13.2						
ウ	2	4.0	ウ	0	0.0	ウ	2	4.2	ウ	2	3.8						
中学1年男子			中学1年女子			中学2年男子			中学2年女子			中学3年男子		中学3年女子			
問 12			問 12			問 12			問 12			問 12		問 12			
	人数	比率		人数	比率		人数	比率		人数	比率		人数	比率		人数	比率
ア	78	83.0	ア	83	84.7	ア	86	78.9	ア	92	83.6	ア	33	61.1	ア	23	50.0
イ	11	11.7	イ	10	10.2	イ	14	12.8	イ	16	14.5	イ	9	16.7	イ	14	30.4
ウ	4	4.3	ウ	5	5.1	ウ	9	8.3	ウ	2	1.8	ウ	12	22.2	ウ	9	19.6

小学生,中学生の別なく,テレビが子供たちの生活の中に大きな比重を占めて入り込んでいることがわかる。テレビを「よく見る」「たまに見る」を併せると小学校5年生男子で96.0%,女子で100.0%,小学校6年生男子で95.9%,女子で96.2%,いずれも90%を大きく越えている。中学生になると1年生男子で94.7%,女子で94.9%,中学校2年男子で91.7%,女子で98.1%とやはり90%を越えている。

しかし,中学3年生となるとややその様相が異なってくる。他学年では「ほとんど見ない」がいずれも10%以内であるのが,中学3年生では男子で22.2%,女子で19.6%とどちらも20%程度の生徒がテレビを見ないようになる。これは中学3年生が進路選択の時期であるため,学習に費やされる時間が増えることが考えられる。それが調査時期が1~2月であったために数値として現れたのであると考えられる。だが,見方を変えると進路選択の時期であると考えても男子女子とも80%近くの生徒がテレビを見ているのであるから,テレビというメディアは子供たちの生活に大きな影響を与え得るのである。

2. 子供の見るテレビ番組名

第2表~第5表は,校種別,男女別に,見るテレビ番組として挙げた子供の多かったものである。小学校5年生男子,6年生男子ともに割合の高いものは、『マンガ・アニメーション』である。「幽遊白書」「南国少年パプワくん」「ドラゴンボールZ」「クレヨンしんちゃん」「ドラゴンボール」は,マンガについての調査結果の中にも現れていたものであり,やはり人気が高かった。すなわち,児童は,マンガ本やマンガ単行本で触れたマンガに,テレビを通じて映像と音声によっても触れていることになる。また,「ミュージックステーション」「MJ」など音楽番組は,小学5年生男子は0.0%であるのに対して,小学校6年生男子は,「ミュージックステーション」18.8%,「MJ」8.3%と好んで見ている傾向がある。

第2表 「何という番組を見ますか」[小学5年男子][小学6年男子]

調査対象		【小学5年男子 50名】				【小学6年男子 48名】				【		】	
		小5男	割合%	小6男	割合%			小5男	割合%	小6男	割合%		
幽遊白書		25	50.0	13	27.1			サザエさん	1	2.0	4	8.3	
とんねるずの みなさんのおかげです		16	32.0	4	8.3			カウントダウン100	2	4.0	4	8.3	
南国少年パプックくん		16	32.0	10	20.8			MJ	0	0.0	4	8.3	
ドラゴンボールZ		14	28.0	14	29.2			たけし逸見の 平成教育委員会	3	6.0	3	6.3	
とんねるずの生で ダラダラいかせて!!		13	26.0	3	6.3			刑事貴族	2	4.0	2	4.2	
クレヨンしんちゃん		11	22.0	6	12.5			ダウトをさがせ!	2	4.0	1	2.1	
マジカル 頭脳パワー		9	18.0	6	12.5			志村けんの だいじょうぶだぁ	3	6.0	0	0.0	
ダウンタウンの ごっつええ感じ		7	14.0	6	12.5			キテレツ大百科	2	4.0	1	2.1	
ドラゴンボール		5	10.0	7	14.6			スーパーマリオクラブ	3	6.0	0	0.0	
ドラえもん		4	8.0	2	4.2			世界まる見え! テレビ特捜部	2	4.0	1	2.1	
おーい! 竜馬		4	8.0	1	2.1			バットマン	2	4.0	0	0.0	
クイズ世界は SHOW byジョーバイ		4	8.0	2	4.2			ねるとん紅鯨団	2	4.0	1	2.1	
ミュージック ステーション		0	0.0	9	18.8			生々生々 ダウンタウン	0	0.0	2	4.2	
ツヨシっかりなさい		1	2.0	6	12.5			ドリモグ	2	4.0	2	4.2	
ウッチャンナンチャンの やるならやらねば!		1	2.0	6	12.5			ズームイン!!朝!	2	4.0	0	0.0	
タモリの ボキャブラ天国		1	2.0	6	12.5			金曜ロードショー	0	0.0	2	4.2	

第3表 「何という番組を見ますか」[小学5年女子][小学6年女子]

調査対象		【小学5年女子 48名】				【小学6年女子 53名】				【			
	小5女	割合%	小6女	割合%			小5女	割合%	小6女	割合%			
クレヨンしんちゃん	18	37.5	16	30.2		サザエさん	4	8.3	4	7.5			
白鳥麗子でございま	13	27.1	10	18.9		ぼくたちの ドラマシリーズ	1	2.1	5	9.4			
幽遊白書	13	27.1	5	9.4		生々生々 ダウタウン	3	6.3	2	3.8			
姫ちゃんのリボン	10	20.8	11	20.8		ドラえもん	3	6.3	2	3.8			
美少女戦士 セーラームーンR	8	16.7	7	13.2		らんま $\frac{1}{2}$	3	6.3	0	0.0			
ミラクル☆ガールズ	7	14.6	2	3.8		ちょっと あぶない園長さん	3	6.3	0	0.0			
いちご白書	1	2.1	11	20.8		高校教師	0	0.0	3	5.7			
とんねるずの みなさんのおかげです	3	6.3	10	18.9		たけし逸見の 平成教育委員会	1	2.1	3	5.7			
ダウタウンの ごっつええ感じ	5	10.4	10	18.9		クイズ! 年の差なんて	0	0.0	3	5.7			
ウッチャンナンチャンの やるならやらねば!	2	4.2	10	18.9		ねるとん紅鯨団	2	4.2	1	1.9			
あの日に帰りたい	3	6.3	9	17.0		二十歳の約束	2	4.2	1	1.9			
南国少年パロ&くん	3	6.3	9	17.0		ずっとあなたが 好きだった	2	4.2	0	0.0			
ちびまる子ちゃん	7	14.6	5	9.4		若草物語 ナンとジョー先生	2	4.2	1	1.9			
とんねるずの生で ダラダラいかせて!!	5	10.4	4	7.5		クッキングパパ	1	2.1	2	3.8			
ドラゴンボールZ	6	12.5	5	9.4		東京 ラブストーリー	0	0.0	2	3.8			
マジカル 頭脳パワー	5	10.4	3	5.7		振り返れば 奴がいる	1	2.1	2	3.8			

第4表 「何という番組を見ますか」〔中学1年男子〕〔中学2年男子〕〔中学3年男子〕

調査対象	【中学1年男子 94名】						【中学2年男子 109名】						【中学3年男子 54名】					
	中1男	割合%	中2男	割合%	中3男	割合%		中1男	割合%	中2男	割合%	中3男	割合%					
とんねるずの みなさんのおかげです	25	26.6	10	9.2	2	3.7	笑っていいとも (増刊号)	4	4.3	8	7.3	3	5.6					
とんねるずの生で ダラダラいかせて!!	24	25.5	17	15.6	1	1.9	サザエさん	2	2.1	9	8.3	4	7.4					
ダウンタウンの ごっつええ感じ	23	24.5	14	12.8	5	9.3	タモリの ボキャブラ天国	6	6.4	8	7.3	0	0.0					
幽遊白書	20	21.3	9	8.3	5	9.3	ドラゴンボール	7	7.4	1	0.9	0	0.0					
クレヨンしんちゃん	17	18.1	18	16.5	5	9.3	マジカル 頭脳パワー	5	5.3	8	7.3	1	1.9					
南国少年パパグン	14	14.9	1	0.9	1	1.9	世界まる見え! テレビ特捜部	6	6.4	8	7.3	4	7.4					
ウッチャンナンチャンの やるならやらねば!	12	12.8	5	4.6	2	3.7	ムーブ・関口宏の 東京フレンドパーク	1	1.1	2	1.8	4	7.4					
プロレス中継	18	19.1	0	0.0	6	11.1	美味しんぼ	0	0.0	1	0.9	3	5.6					
ドラゴンボールZ	12	12.8	7	6.4	1	1.9	生々生々 ダウンタウン	5	5.3	3	2.8	3	5.6					
ツヨシ しっかりしなさい	10	10.6	5	4.6	3	5.6	たけし逸見の 平成教育委員会	3	3.2	7	6.4	3	5.6					
ねるとん紅鯨団	10	10.6	6	5.5	1	1.9	クイズ世界は SHOW byショーバイ	2	2.1	7	6.4	0	0.0					
ウゴウゴルーガ	10	10.6	2	1.8	1	1.9	天才・たけしの 元気が出るテレビ!!	5	5.3	7	6.4	2	3.7					
笑撃の電影箱	8	8.5	19	17.4	10	18.5	なるほど! ザ・ワールド	5	5.3	1	0.9	0	0.0					
ズームイン!!朝!	3	3.2	1	0.9	10	18.5	ドラえもん	5	5.3	2	1.8	0	0.0					
カウントダウン100	8	8.5	8	7.3	3	5.6	美少女戦士 セーラームーンR	5	5.3	0	0.0	1	1.9					
ギルガメッシュ ナイト	0	0.0	8	7.3	2	3.7	MJ	5	5.3	0	0.0	0	0.0					

第5表 「何という番組を見ますか」[中学1年女子][中学2年女子][中学3年女子]

調査対象	【中学1年女子 98名】						【中学2年女子 110名】						【中学3年女子 46名】					
	中1女	割合%	中2女	割合%	中3女	割合%	中1女	割合%	中2女	割合%	中3女	割合%	中1女	割合%	中2女	割合%	中3女	割合%
白鳥麗子でございます	29	29.6	44	40.0	6	13.0	ねるとん紅鯨団	3	3.1	10	9.1	6	13.0					
クレヨンしんちゃん	24	24.5	20	18.2	4	8.7	愛するということ	5	5.1	9	8.2	5	10.9					
幽遊白書	19	19.4	11	10.0	2	4.3	振り返れば 奴がいる	2	2.0	8	7.3	4	8.7					
ミュージック ステーション	18	18.4	17	15.5	2	4.3	南国少年パプウくん	9	9.2	9	8.2	1	2.2					
美少女戦士 セーラームーンR	17	17.3	6	5.5	1	2.2	サザエさん	9	9.2	7	6.4	2	4.3					
あの日に帰りたい	17	17.3	32	29.1	8	17.4	ウッチャンナンチャンの やるならやらねば!	5	5.1	8	7.3	3	6.5					
ダウンタウンの ごっつええ感じ	16	16.3	25	22.7	1	2.2	天才・たけしの 元気になるテレビ!!	1	1.0	9	8.2	2	4.3					
高校教師	3	3.1	21	19.1	9	19.6	放課後	2	2.0	7	6.4	0	0.0					
いちご白書	10	10.2	17	15.5	9	19.6	夢がMORIMORI	5	5.1	7	6.4	1	2.2					
とんねるずの みなさんのおかげです	7	7.1	17	15.5	4	8.7	二十歳の約束	5	5.1	4	3.6	0	0.0					
ウゴウゴルーガ	11	11.2	3	2.7	0	0.0	生々生々 ダウンタウン	5	5.1	6	5.5	1	2.2					
カウントダウン100	12	12.2	4	3.6	2	4.3	姫ちゃんのリボン	6	6.1	4	3.6	0	0.0					
笑っていいとも (増刊号)	7	7.1	15	13.6	3	6.5	はなきん データランド	6	6.1	1	0.9	0	0.0					
とんねるずの生で ダラダラいかせて!!	6	6.1	15	13.6	3	6.5	ドラゴンボールZ	6	6.1	3	2.7	0	0.0					
笑撃的電影箱	2	2.0	15	13.6	0	0.0	ぼくたちの ドラマシリーズ	1	1.0	6	5.5	0	0.0					
お茶の間	6	6.1	6	5.5	7	15.2	金曜ロードショー	0	0.0	0	0.0	4	8.7					

小学校5年生女子，6年生女子でもやはり「クレヨンしんちゃん」「白鳥麗子でございます」（原作マンガのドラマ化）「幽遊白書」「姫ちゃんのリボン」「美少女戦士セーラームーンR」など、『マンガ・アニメーション』の割合が高い。また，男子とは異なり「あの日に帰りたい」「ぼくたちのドラマシリーズ」「高校教師」など，高い割合を示してはいないが『テレビドラマ』の番組名が多く挙げられている。これは，女子が，『マンガ・アニメーション』の世界とは違った，よりリアリティのある世界を好む傾向を示しており，性差による内面の世界の違いと考えられる。

中学校1年生男子，2年生男子，3年生男子では，「クレヨンしんちゃん」「幽遊白書」など『マンガ・アニメーション』の割合は高いものの，「とんねるずのみなさんのおかげです」「とんねるずの生でダラダラいかせて」「ダウンタウンのごっつええ感じ」など『バラエティ番組』の割合が高いものとなる。これを小学校男子と比較すると，割合も高く，また『バラエティ番組』の数自体もさまざまなものを挙げるようになる。また，中学生になると挙げる番組名の種類も多岐にわたるようになり，プロレス中継など『スポーツ番組』や，『深夜番組』など小学生とは違った傾向が現れる。これらは中学生の興味関心の多様化であると考えられる。

中学校1年生女子，2年生女子，3年生女子では，小学校女子に見られた『テレビドラマ』の割合が更に高くなる。「白鳥麗子でございます」「いちご白書」のように主人公が10代の女の子の，あまり複雑ではないストーリーのものが好まれる傾向があり，「いちご…」は「15（1いち，5ご）」を表すように中学生向けの番組でもあるのである。

なぜ「幽遊白書」が好まれ，「とんねるずのみなさんのおかげです」がよく見られているのか，それらの理由を検討することは聞き取り調査など今後に譲るとするが，それによって子供の感受性，想像力，言語感覚などがどのような状況にあるのか，を把握する手がかりが得られるのではないかと考える。

### 3. テレビ視聴の時間帯

第6表 「テレビを見る時間帯はいつですか」

	小学校5年男子		小学校5年女子		小学校6年男子		小学校6年女子	
	問14	問14	問14	問14	問14	問14	問14	問14
(1) 学校に行く日（ただし，土曜日をのぞく）								
ア，起きてから登校までの間	19	38.0	21	43.8	17	35.4	18	34.0
イ，帰宅後から夕食までの間	32	64.0	34	70.8	19	39.6	36	67.9
ウ，夕食中	28	56.0	29	60.4	17	35.4	26	49.1
エ，夕食後から寝るまでの間	45	90.0	38	79.2	33	68.8	48	90.6
オ，深夜	4	8.0	4	8.3	4	8.3	3	5.7
(2) 土曜日（第2土曜日以外）								
ア，起きてから登校までの間	12	24.0	17	35.4	13	27.1	18	34.0
イ，帰宅後から夕食までの間	25	50.0	25	52.1	13	27.1	32	60.4
ウ，夕食中	27	54.0	30	62.5	21	43.8	28	52.8
エ，夕食後から寝るまでの間	42	84.0	41	85.4	33	68.8	43	81.8
オ，深夜	8	16.0	6	12.5	5	10.4	7	13.2
(3) 日曜日・休日								
ア，起きてからお昼までの間	27	54.0	29	60.4	20	41.7	32	60.4
イ，お昼から夕食までの間	15	30.0	24	50.0	14	29.2	28	52.8
ウ，夕食中	25	50.0	34	70.8	20	41.7	26	49.1
エ，夕食後から寝るまでの間	39	78.0	32	66.7	30	62.5	42	79.2
オ，深夜	2	4.0	5	10.4	3	6.3	4	7.5



中学校1年男子			中学校1年女子			中学校2年男子			中学校2年女子			中学校3年男子			中学校3年女子		
問14			問14			問14			問14			問14			問14		
(1) 人数	比率		(1) 人数	比率		(1) 人数	比率		(1) 人数	比率		(1) 人数	比率		(1) 人数	比率	
ア	41	43.6	ア	31	31.6	ア	32	29.4	ア	32	29.1	ア	19	35.2	ア	12	26.1
イ	56	59.6	イ	51	52.0	イ	49	45.0	イ	51	46.4	イ	12	22.2	イ	14	30.4
ウ	48	51.1	ウ	56	57.1	ウ	46	42.2	ウ	49	44.5	ウ	15	27.8	ウ	13	28.3
エ	76	80.9	エ	81	82.7	エ	82	75.2	エ	94	85.5	エ	30	55.6	エ	26	56.5
オ	11	11.7	オ	4	4.1	オ	13	11.9	オ	12	10.9	オ	10	18.5	オ	1	2.2
(2) 人数	比率		(2) 人数	比率		(2) 人数	比率		(2) 人数	比率		(2) 人数	比率		(2) 人数	比率	
ア	28	29.8	ア	23	23.5	ア	22	20.2	ア	26	23.6	ア	18	33.3	ア	12	26.1
イ	47	50.0	イ	53	54.1	イ	50	45.9	イ	54	49.1	イ	18	33.3	イ	13	28.3
ウ	46	48.9	ウ	51	52.0	ウ	45	41.3	ウ	48	43.6	ウ	12	22.2	ウ	14	30.4
エ	77	81.9	エ	81	82.7	エ	86	78.9	エ	89	80.9	エ	29	53.7	エ	28	60.9
オ	22	23.4	オ	17	17.3	オ	18	16.5	オ	30	27.3	オ	17	31.5	オ	4	8.7
(3) 人数	比率		(3) 人数	比率		(3) 人数	比率		(3) 人数	比率		(3) 人数	比率		(3) 人数	比率	
ア	53	56.4	ア	56	57.1	ア	47	43.1	ア	50	45.5	ア	17	31.5	ア	20	43.5
イ	47	50.0	イ	37	37.8	イ	37	33.9	イ	56	50.9	イ	17	31.5	イ	10	21.7
ウ	46	48.9	ウ	46	46.9	ウ	50	45.9	ウ	44	40.0	ウ	10	18.5	ウ	13	28.3
エ	78	83.0	エ	80	81.6	エ	82	75.2	エ	89	80.9	エ	30	55.6	エ	23	50.0
オ	15	16.0	オ	10	10.2	オ	17	15.6	オ	11	10.0	オ	9	16.7	オ	2	4.3

学校に行く日は、各学年、男女とも一日のうちで夕食後から寝るまでの間にテレビを見るものが一番高い比率を示す。また、中学校1年生男子、2年生男子、2年生女子、3年生男子は深夜にテレビを見るものが、それぞれ11.7%、11.9%、10.9%、18.5%と、他の学年と比較して高い比率である。この深夜のテレビ視聴は、土曜日になるといっそう顕著になり、小学生が10.4%から16.0%のあいだを示し、中学生では3年生女子が比較的低いほかは、20%前後を示し、3年生男子にあっては31.5%の高い比率を示す。

日曜日・休日には、午前中のテレビ視聴がやはり高い。それが午後になり夕食後から寝るまでの間にもっとも高くなる。子供たちは、午後に出外など他の活動をするのが考えられるが、それ以外家にいるときは、頻りにテレビの前に座っていることになるであろう。

### 今後の研究の方向

テレビは子供たちにとって、もっとも身近な、そして親しみやすいメディアであろう。「テレビっ子」という言葉があるように子供たちはテレビに浸った生活を送っている。本稿ではその実態の一部についての知見を得ることができた。

国語教育で最も重視されなければならないのは、今後言語情報による「認識」「思考」「想像」という処理・操作の能力である<sup>1)</sup>と考える。この主体的な言語情報操作能力が「言葉の力」であり、言語情報を受容し、理解することにおいても、言語情報を表出し、伝達するために表現することにおいても、言語情報を整理・処理するなどの認識の活動、思考の活動、想像の活動が行われている。

テレビを見るという活動にも、この言語情報による「認識」「思考」「想像」という処理・操作が行われていると考える。なぜなら子供たちがテレビによって受容する情報は、主に音声言語（一部文字言語にもよる）によるからである。さらにテレビはラジオと違って、映像情報が加わる。これは、マンガ本とも違って、動的な映像情報と言うことができる。

テレビの『マンガ・アニメーション』『バラエティ番組』などによる音声言語情報によって、子供たちは流行語・略語を身に付けやすく、そこには日本語の豊かさや美しさは存在しない。また自分から受容を中断することのできない動的な映像情報によって、子供たちは言語情報を整理・処理して「思考」することを許されなくなる。しかし、反対に情緒豊かな映像や、言語情報操作能力を刺激してくれるテレビ番組が存在することも事実である。

このような状況の中で、本研究の意義は、今後、文字メディアを生かすための、マルチメディア教育の樹立・創造について考察を進めていくことにある。

#### 注

- 1) 小林一仁「国語教育で育成する『言葉の力』・試論——認識、発想、思考を軸に」『茨城大学教育学部紀要（教育科学）』第39号(1990), p. 2.